

大柏生活改善センターと大柏公民館は、大柏地区の7自治会・町内会で管理運営する施設です。自治会・町内会をはじめ、老人会・婦人会・子ども会など、地域住民の交流の場として広く活用されています。

今回、宝くじの助成を受けて、大柏公民館の座卓(13台)や大柏生活改善センターの会議用テーブル(7台)、椅子(50脚)、椅子用台車(1台)、テレビ(2台)、冷蔵庫(1台)、カラオケマイク(2本)を購入したほか、

地デジ・BSアンテナ工事を実施しました。

○今回のような宝くじの助成は、社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な施設や備品を整備するために実施されています。



ただ、残念ながら、母国でよくやったインラインスケートは日本ではあまり機会がないようです。冬のスケートが子どものころから好きだった私は、高校生時代にインラインスケートを始めました。インラインスケートは雨が降らなければ一年中できるので、その手軽さが特徴です。大人になっても、時々友達と平日の夕方や土日に、近くの滑りやすい道でインラインスケートをしていました。

私はスポーツが大好きです。能力があるかは別の話ですが(苦笑)。毎週、バレーボールは1回、バドミントンは2回します。最近ジムにも入り、合気道をやってみようか迷っているところです。



国際交流員
ヨークさんの
スケートナイト
MORIYA
滞在記

でも、一番楽しいのは「ベルリン・スケート・バイ・ナイト」、つまり「スケートナイト」です。毎年5月から9月までの隔週日曜日の夜7時半に、インラインスケーターがベルリンの中央広場に集まり、警察の警備がある中で、デモのようにベルリンの中央道路を走ります。都市のきれいな街並みを見ることができ、信号も優先されるため、本当に気分がいいです。少し自由な感じもします。

22〜31kmのコースの途中に、約20分の休憩があり、主催者が飲み物を配ります。3年ほど前にスポンサーが変わってから、毎回テーマがあるようになりました(シングル・ナイトや観光ナイトなど)。さらに、2ユーロの参加費もかかるようになりましたが、サービスも向上しています。例えば、インラインスケートを持つていない人が無料で借りることができたり、スタートの広場に帰ってくると音楽が流れ、くじ引きを行ったります。

インラインスケートは、

守谷市内には楽しく滑れそうなきれいな道がありませんが、スケート靴が大きく、重いので日本に持って来ませんでした。そして、日本の道路で滑るのは危ないと思っているので、なかなかスケートができそうにないのが残念です。

